

市民と市役所が

ツナガル通信

発行日：平成 28 年 4 月 20 日

発行元：ESD・市民協働推進センター

岡山市役所本庁舎 2 階（月～金、9:00～17:00）

TEL：086-803-1062/070-5055-7589



Contents

- >>「岡山市協働のまちづくり条例」施行！
- >>平成28年度モデル事業決定！
- >>新体制の紹介！

Vol.11

2016年4月1日(金)、改正「岡山市協働のまちづくり条例」施行！！

昨年の11月市議会にて全会一致で可決・成立した「岡山市協働のまちづくり条例」が4月1日から施行されました。

改正条例では、地域の協働の拠点機能の強化、協働の主体の育成、情報共有・交流機会の提供、協働推進モデル事業の指定、表彰など支援策・促進策が具体的に規定されており、今年度から推進計画の策定とあわせて施策の整備・拡充が図られます。

「つながる協働ひろば」の条例関連ページもリニューアルされる予定です。条文などはこちらをご参照ください。

「つながる協働ひろば」<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/3901>



4月1日の朝8時に岡山駅東口にてNPOの皆さんで条例施行の宣伝をしました。

平成 28 年度市民協働モデル事業が決定しました！！

岡山市各課とNPO等市民団体が協力して課題解決に取り組む「市民協働推進モデル事業」の平成28年度事業が決定しました。今後、本格的に展開される各事業にご注目ください。

現在、より協働効果を高めるための事業見直しを行っています。

1	慢性疾患を抱える子どもの自立を目指す学習・復学支援 および交流を支援する場「ポケットスペース」	実施団体：NPO 法人ポケットサポート 協働担当課：健康づくり課
慢性的な疾病により長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成および自立促進を図るため、子どもが安心して通える学習、交流の場を提供する。また家族からの相談に応じ、必要な情報の提供および助言を行うことを目指し、利用者のニーズ調査を行う。病気の子どもの将来への希望を持って生活できるようになることや、またそのための地域・社会づくりを目指す。		
2	中学生が地域の大学生、保護者と交流する キャリア教育授業のモデル化	実施団体：NPO 法人だっぴ 協働担当課：教育委員会事務局指導課・生涯学習課
他者との繋がりや関わりの不足などにより、将来の夢や目標を持つことが出来ない多くの中学生が、地域の大人（保護者）や大学生と交流することで自身の自己効力感を高めるようなキャリア教育プログラムのモデル化を行い、広域に展開させていく。		
3	里親委託を推進するための、里親制度の普及啓発	実施団体：一般社団法人ぐるーん 協働担当課：こども総合相談所
社会的養護が必要な児童について、岡山市内にも家庭環境での養育を必要とする児童がいるが、養育里親はハードルが高い。里親制度に関する座談会、施設の子供達とふれあうワークショップの開催、既存の広報媒体の改善をはかり、里親・養子縁組制度の普及・啓発を通して、一次里親を含む里親登録数の増加と養育スキルの向上を図る。		

4	学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業～ 教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～	実施団体：プラウド岡山 協働担当課：教育委員会指導課・女性が輝くまちづくり推進課・人権推進課
性的マイノリティの当事者、特に子どもたちの多くが思春期に生きづらさを感じ、自己肯定感を育みにくい。思春期における自己否定や疎外感・孤立感は、学校不応や自傷行為等につながり、進学・就職・結婚などその後の人生にも負の影響を与えることが多い。主に学校現場で多様なセクシュアリティの共生を容認する雰囲気醸成されるよう、教職員向け（及び一般向け）のパンフレットを作成し、指導・環境の改善につなげていく。		
5	精神障がい者家族ピアサポーター事業	実施団体：NPO 法人岡山県精神障害者家族連合会 協働担当課：岡山市こころの健康センター
精神に障がいを持つ当事者の家族は、周囲や自身の差別偏見による社会的孤立に晒され、罪悪感や無力感を持つ人が多いので、家族ピアサポーターとの語らいの中で辛さを分かち合い、孤立防止を図り、家族の力を高める。また思春期～青年期に好発する精神疾患は、本人・保護者・教育機関関係者のいずれも正しい知識を得る機会が少ないため、ピアサポーターの発掘と養成のための研修事業を実施して、市内全域に相談対応が可能な人材を配置することを目指す。		
6	地域主体による移動支援の仕組みづくり事業	実施団体：岡山県高齢者福祉生活協同組合 協働担当課：高齢者福祉課
独居もしくは高齢者のみの世帯の増加に加えて、定期的な通院を必要とする高齢者の増加により、移動手段が無い方が増えている。バス停まで遠い、経済的にタクシーに乗れない方が「自分の行きたい場所」に行けるよう、移動支援に関心のある市民に地域で移動の支援を行うために必要な情報の提供や、先進事例の紹介などを行う講座を実施し、地域で移動支援を行える団体を育成していく。		
7	公民館への太陽光発電の設置と環境学習による 持続可能な社会の推進事業	実施団体：NPO 法人おかやまエネルギーの未来を考える会 協働担当課：中央公民館・環境保全課
地球温暖化を食い止めるためには、省エネや自然エネルギー対策だけでなく消費行動を見直す必要があると考えられることから、主に大人世代への啓発を図っていく。地域コミュニティの拠点である公民館との連携により、地域住民を対象とした環境学習を通じて地域の当事者性・主体性を醸成しつつ、市民共同発電所の設置を目指す。また、地域主体で課題解決に取り組んでいくことのできる仕組み、体制づくりのモデルを確立後、複数の地域へ波及させていく。		

「ESD・市民協働推進センター」新体制のご案内！

平成 28 年度より「ESD・市民協働推進センター」の運営体制が変わりました。市民協働推進のための情報提供、人材育成、マッチング機会の創出などに一層努めてまいりますので今年度も積極的にご活用ください。

						
事業プロデューサー 石原 達也	センター長 (常勤) 高平 亮	コーディネーター (常勤) 斉藤 恵美	コーディネーター 渡辺 泉	コーディネーター 北内 はるか	コーディネーター 西垣 優衣	サポートスタッフ 那須 千恵

【平成 28 年度の事業内容】

市民協働の推進と多様な主体の育成事業	区づくり推進事業「地域活動部門」の運営・支援
人材育成事業	地域活動を支援する公民館職員及び地域担当職員等の研修等
協働推進体制並びに推進計画策定・検証の支援事業	ESD プロジェクト普及・促進事業